

令和3年3月30日

各位

社会福祉法人 聖明福祉協会
理事長 本間清郷

新型コロナウイルス感染症に関するお知らせ（第四報・最終報）

時下ますますご健勝のこととお慶び申し上げます。
平素は施設運営にご理解とご協力を賜り誠にありがとうございます。
令和3年3月5日(金)に特別養護老人ホーム聖明園寿荘で発生した新型コロナウイルス感染症についての経過報告（第四報・最終報）をお知らせいたします。

第三報（令和3年3月13日(水)から3月18日(木)）以降、施設において新規陽性者は発生していません。

また、東京都の取り組みである職員全員を対象としたPCR検査におきましても、職員全員陰性の判定結果でした。

令和3年3月29日(月)の午後に、西多摩保健所より、経過観察期間を終了した旨の連絡がありました。その連絡が入ったことによって、感染対策を最優先とした業務から陽性者発生前の業務体制に戻せることとなります。そこで聖明園寿荘内では、29日の午後から全居室および共用部分等の消毒作業を行い、30日の夕方に全ての消毒作業を終了いたしました。

つきましては、令和3年3月30日(火)の夕方（夕食時）から感染対策を最優先とした業務を終了することといたしました。

新型コロナウイルス感染症の発生のご報告（第一報）から、ご家族の皆様、関係事業所の皆様に大変不安な思いとご心配をおかけすることになってしまい、心からお詫び申し上げます。世の中では、感染症の猛威は一向に弱まる気配がありません。施設におきましては、今まで以上に感染対策に力を入れて対応をさせていただきます。

なお引き続き、感染対策といたしまして面会制限（直接触れ合う面会禁止）は継続をさせていただきます。このような対応を続けなければならないことを、どうかご理解いただきますようお願いいたします。

これからも、ご利用者の方々が、安心してご生活ができる環境をつくり、そして気持ちの良い施設運営を目指してまいりますので、今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

末筆ではございますが、感染対策を最優先とした業務を終了し、陽性者発生前の業務体制を再開させていただきご報告とともに、長期間にわたり、ご心配をおかけした事を改めて深くお詫び申し上げます。

記

（第四報・最終報の内容）

- 3月29日(月)午後、西多摩保健所より経過観察期間終了の連絡を受ける
- 3月29日(月)から30日(火)の二日間で、施設内消毒を実施
- 3月30日(火)夕方、施設内消毒終了、感染対策最優先業務の終了

（陽性者累計）

- 職員 2名
- 利用者 3名

特別養護老人ホーム 聖明園寿荘
施設長 本間清郷
TEL0428-24-5702
FAX0428-25-2315